

記者発表（発表・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当事務所 部署名	電話番号 (ダイヤル)	発表者名 (担当名)	配布先
2 / 13 (木) 10 : 00	兵庫県立大学 産学連携・研究支援課	078- 754-6136 (0791- 58-0101)	兵庫県立大学事務局 副局長兼教育企画部長 西島健治 (播磨理学キャンパス 次長兼総務課長 石原康範)	兵庫県教育記者クラブ 兵庫県県政記者クラブ 西播磨県民局記者クラブ 文部科学記者会、科学記者会 大阪科学・大学記者クラブ 中播磨県民センター記者クラブ

兵庫県立大学と(公財)高輝度光科学研究センター（JASRI）との 包括連携協力協定の締結について

兵庫県立大学理学部（研究科）は 1990 年度に設置以来、大型放射光施設 SPring-8 の 1997 年供用開始時から、(公財)高輝度光科学研究センター（JASRI）と密接に協力を進めてまいりました。SPring-8 を活用した研究やニュースバル（NewSUBARU）の運用を通じて、これまでに SCIENCE をはじめとする著名な科学雑誌に掲載される研究成果をあげてきました。

このたび、SPring-8 のアップグレード計画を受けて、同センターとの包括的な研究協力をさらに拡充し、新たな段階に進むべく協定を締結します。本協定は、両者が研究設備及び技術情報の有効活用を図り、研究開発及び人材交流等の具体的な連携協力を互恵の精神に基づき効果的に推進し、我が国の研究・科学技術及び産業の振興への寄与、放射光科学に関する技術の向上及び人材育成に貢献することを目的としています。

今後は、両者が連携し、幅広い分野での共同研究や人材育成、研究施設・設備の相互利用を積極的に進めていきます。また、これらの取り組みを通じて、学術成果のさらなる充実や産業利用成果の社会実装、地域及び国内外の科学技術の発展に貢献することを目指していきます。

記

1 協定締結式の実施について

○日 時 令和 7 年 2 月 27 日（木）10 時 30 分～12 時 15 分

※プレス見学会（SPring-8 施設見学、約 1 時間）を含みます。

○場 所 大型放射光施設 SPring-8 中央管理棟 上坪（かみつぼ）記念講堂

○出席者 (公財)高輝度光科学研究センター（JASRI）

雨宮 慶幸 理事長

山口 章 常務理事

坂田 修身 常務理事

安藤 慶明 常務理事

兵庫県公立大学法人兵庫県立大学

高坂 誠 副理事長兼学長

小川 佳宏 副理事長兼事務総長

畑 豊 理事兼副学長

小林 寿夫 理学研究科教授（学長特別補佐）

2 連携・協力事項

加速器科学、ビームライン光学技術を含む放射光科学基盤技術の発展、学術利用成果の充実及び産業利用成果の社会実装を目指し、次の各号に掲げる事項について連携・協力していきます。

- 一 共同研究等の研究協力
- 二 人材交流
- 三 教育及び人材育成
- 四 研究施設・設備の相互利用
- 五 その他本協定の目的を達成するために、両者が必要と合意した事項

3 調印式の取材について

取材いただける場合は、令和7年2月21日（金）17時までに播磨理学キャンパス経営部(4 問い合わせ先を参照)に取材申し込みをして下さい。

※お申し込み内容は JASRI と共有し、SPRing-8 への入構等に係る、国立研究開発法人理化学研究所への手続きを行います。

4 問い合わせ先

- ・ 兵庫県立大学播磨理学キャンパス経営部次長兼総務課長 石原（いしはら）
電話: 0791-58-0101 E-mail: soumu_harima@ofc.u-hyogo.ac.jp
- ・ (公財) 高輝度光科学研究センター 利用推進部 普及情報課 安藤（あんどう）
電話: 0791-58-2785 E-mail: kouhou@spring8.or.jp

【参考】

1 (公財)高輝度光科学研究センター (JASRI) の概要

JASRI は、科学技術の発展や産業振興の形で社会貢献している、学際性、先端性、国際性の高い公益財団法人です。また、国から法律に基づき選定された登録施設利用促進機関として公平・公正を基に世界最先端の巨大分析装置である SPRing-8、SACLA 及び NanoTerasu の利用者選定業務、利用支援業務を行うとともに、公益財団法人として、SPRing-8 の運営支援業務を国立研究開発法人理化学研究所から受託、また競争的資金等を活用した業務を実施しています。

2 兵庫県立大学大学院理学研究科の概要

兵庫県立大学大学院理学研究科では、従来の学問領域の枠を超え、「物質科学」と「生命科学」をキーワードに学際的な研究と教育を推進しています。さらに、両分野の研究者が連携し、「知の創造」を開拓することで、新たな研究の潮流を生み出し、急速に変化する未来に向けて知識の体系化と継承を目指しています。また、SPRing-8、SACLA、富岳といった最先端の研究施設を積極的に活用し、独自の先端的研究を展開しています。